公益社団法人埼玉県農林公社間伐材売買契約を伴う 森林整備事業特記仕様書

第1 一般的事項

- 1 この事業は、埼玉県農林公社間伐材売買契約を伴う森林整備事業請負契約書及び公益社団法人埼玉県農林公社森林整備事業標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）に定めるもののほか、この仕様書に基づき実施しなければならない。
- 2 事業の実施にあたり、林地の使用や必要な施設の設置については監督員と協議し、その指示により行うこと。
- 3 第三者に対して十分に注意を払い、一般の交通に支障を与えもしくは人畜に危害を及ぼし、又は第三者の財物を損壊する恐れがある場合は、必要に応じて防護施設の設置等適切な措置を講じること。
- 4 事業実施上、この仕様書によりがたい場合もしくはこの仕様書に明示がない事項については、監督員の指示によること。
- 5 受注者は、作業道及び進入路等を著しく損傷させた場合は復旧すること。
- 6 標準仕様書第1章1-41に規定する事業区域の踏査にあたっては、誤伐等を防ぐため、境界標、境界杭等の確認を行うこと。なお、確認した境界杭等の近くにピンクリボン等の目印を付けること。

第2 選木・伐採

- 1 間伐の方法は、原則3残1伐又は2残1伐程度の列状間伐とし、全体として間伐率30%以上とすること。
- 2 設計図書又は監督員の指示に従い、伐採列・残存列を選定すること。その際、伐採列は直線に設定し、伐採列の方向は、基本的には林地の傾斜方向と一致させること。
- 3 設定した伐採列の方向にテープ等で中心線を引き、列の中心から一定距離内の全ての立木を伐採する立木として選木すること。
- 4 伐採木と残存木が判別できるよう選木した立木にエスロンテープ等を巻き付けること。
- 5 選木した立木が設計値以上であることを確認したうえで、選木の状況について監督員の確認を受けること。
- 6 選木した立木は全て伐採すること。
- 7 選木していない立木を伐採する場合は監督員の確認を受けること。
- 8 掛かり木を放置しないこと。
- 9 枝払いを行った枝条等の処理は天然更新に支障がないように1カ所にま

とめないこと。

- 10 残存させる造林木に蔓が巻き付いているのを確認したときは、蔓の根元の切断に努めること。

第3 造材・搬出

- 1 造材規格は特に設定しない。
- 2 設計図書に示した搬出材積以上の間伐材の搬出を行うこと。ただし、設計図書と現地の状況が著しく異なるなど、搬出する間伐材の確保が困難な場合は、監督員と協議のうえ適正な搬出材積を確保するよう努めること。
- 3 末口の直径が14cm以上で長さが3m以上の採材が可能な間伐材については、曲がりや腐れ等があり、市場価値を著しく損なうものを除き全て搬出すること。
- 4 間伐材は所有者ごとに搬出し、異なる所有者の間伐材が混在しないように管理すること。
- 5 搬出にあたっては、著しく地表面を攪乱することがないように注意すること。
- 6 共同事業者を構成して入札に参加した場合、間伐材の購入時に構成員間でトラブルが発生しないよう搬出する間伐材の品質確保や造材規格等について構成員間で調整すること。

第4 はい積み

- 1 搬出した間伐材は、設計図書又は監督員の指示に従い、指定された場所にはい積みすること。
- 2 はい積みは、検知しやすいように所有者、樹種、材長ごとに分けること。
- 3 はい積みごとに番号を表示し、丸太自動認識システム、はい積写真及び検知野帳等により材積が確認できる資料をまとめ、搬出材積集計表（様式1）を作成すること。
- 4 共同事業者を構成して入札に参加した場合、搬出材積の確認検査には他の構成員も立ち会うこと。
- 5 はい積みにあたっては荷崩れを防止するための措置を講じるとともに、一般交通の支障とならないよう維持管理に留意すること。

第5 間伐材の移動

- 1 発注者が指定する集積場所から、完了確認前に間伐材を移動しようとするとき（指定場所にすべての間伐材が集積できない場合も同様とする。）は、間伐材移動届（様式2）（以下「移動届」という。）を提出すること。
- 2 共同事業者を構成して入札に参加した場合、移動届を連名で提出するこ

と。

- 3 移動届の届出者は、移動する前に監督員立ち合いのもと現場で間伐材の材積の確認検査を受けること。
- 4 間伐材の移動先は、管理に支障のない範囲で複数個所に分散することができるものとする。
- 5 移動先では、引渡し完了するまで受注者の責任において適正に管理すること。
- 6 移動先の使用について、間伐材売買契約による間伐材の引渡し完了するまで使用することができるものとし、この間の使用に関する一切のことは、受注者の責任において行うものとする。
- 7 間伐材の移動後は、元の集積場所を原状に回復しなければならない。ただし、移動後も使用する場合は、使用を終えた段階で原状に回復するものとする。

第6 任意集積

- 1 間伐材の集積について、発注者が指定する集積場所を変更するときは、間伐材集積場所変更届（様式3）（以下「変更届」という。）を提出すること。
- 2 共同事業者を構成して入札に参加した場合、変更届を連名で提出すること。
- 3 集積場所は、管理に支障のない範囲で複数個所に分散することができる。
- 4 集積場所は、間伐材の引渡し完了するまで受注者の責任において適正に管理すること。
- 5 集積場所は、間伐材売買契約による間伐材の引渡し完了するまで使用することができるものとし、この間の使用に関する一切のことは、受注者の責任において行うものとする。

間伐材移動届

年 月 日

公益社団法人埼玉県農林公社理事長 様

住所

商号又は名称

代表者氏名

印

年 月 日付で契約締結した下記の事業について、間伐材を集積場所から移動
したいので届け出ます。

1 事業名

2 事業箇所

3 間伐材の移動先

住所：

位置：別添地図のとおり

間伐材移動届

年 月 日

公益社団法人埼玉県農林公社理事長 様

住所
商号又は名称
代表者氏名 印

住所
商号又は名称
代表者氏名 印

年 月 日付で契約した下記の事業について、間伐材を集積場所から移動したいので届け出ます。

1 事業名

2 事業箇所

3 間伐材の移動先

住所：

位置：別添地図のとおり

間伐材集積場所変更届

年 月 日

公益社団法人埼玉県農林公社理事長 様

住所

商号又は名称

代表者氏名

印

年 月 日付で契約締結した下記の事業について、間伐材の集積場所を変更したいので届け出ます。

1 事業名

2 事業箇所

3 変更後の集積場所

住所：

位置：別添地図のとおり

間伐材集積場所変更届

年 月 日

公益社団法人埼玉県農林公社理事長 様

住所
商号又は名称
代表者氏名 印

住所
商号又は名称
代表者氏名 印

年 月 日付で契約締結した下記の事業について、間伐材の集積場所を変更したいので届け出ます。

- 1 事業名
- 2 事業箇所
- 3 変更後の集積場所
住所：
位置：別添地図のとおり